

道

2017・10・11

通信 No 1459



《本日の練習》 小坂先生

- ・ 広きドニエプルの嵐・向こうの小川で
- ・ 雪白く ・ 小川の洗濯場で（2集2p）
- ・ キエフの鳥の歌

10月18日（水）3部 中山先生

- ・ 聖なる湖バイカル（歌集1-46P）
- ・ 十二人の盗賊（男） ・ やなぎ（女）
- ・ おお、ライ麦よ
- ・ アムール河の波（ロシア語）

※ お別れをする人、新しくご縁ができる人。
この時期目まぐるしく変わっていきます。※

◆佐々木さん退団挨拶◆

中山先生、小坂先生、二宮先生

そして「道」の皆様へ

突然ですが、家族の事情により9月末で退団させていただきます。20数年「道」でたくさんの歌を知り、学び本当に充実した年月を過ごすことが出来ました。

家族は水曜の夜になると嬉々として出かける姿に、はじめは戸惑い、そのうち協力し支えてくれるようになったのです。その身近な家族が弱ってきました。遠方で独り身の兄は脳梗塞で倒れ、リハビリ中、94歳の義母は東京で1人住まい。夫も本調子でなく、週2回孫の世話も大事です。

私が何とか動けます今、弱っている家族を支えたい。できるだけ世話をしたい。大切な人たちとの時間を多くとりたい……。そんな気持ちで決断いたしました。

長い間、本当にお世話になりました。心からお礼申し上げます。ありがとうございました。

中山先生がおっしゃっていた言葉です。

練習は本番のように。本番は練習の時のように。

ほどよい緊張感が持てて歌えました。

水曜日の夜、幸せでした。

ソプラノ 佐々木 節子 2017年9月末日

◆佐伯葉子さんから感想が寄せられました。◆

少しアドバイスすると皆さんすぐに反応があって、短時間でとても良くなりましたので驚きました。また、難しいロシア語をすらすらとお歌いになれるのにも感動致しました。男声も多いし、良いアンサンブルになりそうですね。

またお目にかかる日を楽しみにしております。
ありがとうございました。 佐伯葉子

《49周年定演アコーディオン奏者について》

大田智美先生がご都合つかず森陽介先生へ変更になりました。先生からメールいただきましたのでご紹介いたします。

～ 瀧 様～

丁寧なメールくださりありがとうございます。2年前、青山先生が亡くられる日の前の日曜日に、コンクールの会場で立ち話をしたことを覚えています。そのときに、合唱団道の伴奏に興味はあるかと尋ねられたのです。

ロシアの音楽にまだ通じていないことや、技術的に対応できるかなど、不安がよぎり、返事によどむと、少し厳しい目でこっちを見ていたように記憶しています。

延浄寺の法事でご一緒した上でのお願い。僕にとっては光栄で、また青山先生とのご縁も感じる話です。今回は挑戦することに決めました。

よろしく願います。 ～森陽介～

《今後の会議予定》 於 県民サポートセンター

10月18日（水）4時～ チケット・チラシ・プログラム委員会

本日の片づけは
アルトとテノール